



社団法人 北海道開発
技術センター理事
積雪地域の都市などの
調査研究が専門

雪の問題は道路の除雪だけでは絶対に解決しないと思います。この問題は教育や広報なども含め、札幌市全体として関わるべきものだと思うのです。
それから、住民の皆さんには、自分たちの冬の生活を振り返っていただきたいと思っています。これからは、冬の生活に関する教育とコミュニケーションというものをベースにして、良い冬の社会になっていければいいと思います。

地域の住民の方からのご意見

私たちが一番困るのは除雪で、無駄のない除雪をお願いしたいと思います。豪雪の時など、家が埋まったり、救急車や消防車が入れなくなったりすることがないようにお願いします。

市長

無駄な除雪があればそれを見直し、しっかりとチェックしなければいけないと思います。また、大雪の時は、車の利用を控えるなど、みんなで協力し合えるまちにしていきたいと思っています。



子どもや高齢者の皆さんの安全を守るため地域で活動している方からのご意見

子どもたちが路上駐車された車を避けて通学している姿を見かけます。そして、この路上駐車は、冬期間には除雪の妨げにもなるわけです。市民はモラルを守り、行政は指導などの徹底や運搬排雪の回数を増やすなどの努力をしてほしい。

市長

子どもたちが安全に通学できるように、学校や警察などの関係機関と協力しながら、いろいろと検討していきたいと思っています。

市長から

雪と親しみ、雪とたわむれることが北海道の文化であり、札幌人としての資質を磨いていくことに通じるのだと感じました。冬の生活で人に任せていたことのうち、「自分でやれること」、「自分たちのまちで取り組むことができること」をまずみんなで発見しよう、そしてできたことを「ちょっと続けてみよう」、「広げてみよう」、「仲間を広げてみよう」、そんな運動を展開できればうれしいなと思います。そして、その延長線上で、冬のルールづくりをやればいいですね。

また、学校教育の中にもすばらしい実践があり、そのことを多くの人に知ってもらい、「大人もそこで勉強しよう」、「子どもたちもこれを見て学習できる」、そんなことができればうれしいなと思います。

当日ご参加いただいた皆さんの中には、さまざまなご意見をお持ちの方がいらっしゃったと思いますが、時間の関係で全ての方にご発言いただくことができませんでした。ここでは、アンケートを通じていただいた皆さんのご意見をいくつかご紹介いたします。

- ◆行政が予算を出して、市民が意見を出し、業者が除雪するという図式が変わらないのではだめだと思います。
- ◆行政に頼るばかりではなく、市民も「市民としてのプライド」を持って生活することが大事だと思います。
- ◆加齢と共に除雪・排雪が困難になるので何とかしてほしいです。
- ◆除雪について、家の前に圧雪になった雪を置いていかれるのは困ります。なんとかしてもらいたいです。
- ◆それぞれの家に雪捨て場ができるように、建築基準などで札幌方式をつくってはどうか。
- ◆雪はだいきらい。灯油が高いからなおきらい。
- ◆子どもの遊び場などとしても使える雪の堆積場所がほしいです。
- ◆雪を活用する話題がもっと多ければよかったと思う。

- ◆路上駐車は除雪の支障になるほか、車上狙い・放火の原因にもなることを教訓に、一人ひとりの自覚を高める必要があると思います。

このほかにも、次のようなご意見が寄せられました…

- ◆広く各立場の人の意見を聞くことができた。
- ◆雪が本格的に積もる時期に、もっと掘り下げた議論を時間を気にせずに行ったほうがいい。
- ◆タウントークの雰囲気から、区民の皆さんが主体的にまちづくりを考えていると感じました。
- ◆市長の話を通じて直接聞いたのは良かったのですが、時間が短く感じました。
- ◆ほかの課題を含め積極的に実施してください。
- ◆このような機会をもっと増やしてほしいです。

このほかにも多くのご意見をいただいています。今後のまちづくりの参考とさせていただきたいと思いますので、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後ともまちづくりに関する皆さんのご意見をお待ちしています。

※本誌全市版の4・5ページにも、手稲区タウントークについて一部掲載していますので、併せてご覧ください。